

SDGsの推進について

令和6年度の取組について

1 水俣環境アカデミアにおける取組

水俣環境アカデミアでは、地域内外の大学、研究機関、事業者等と連携し、地域課題の解決や地域社会において活躍する人材の育成を推進し、「教育・研究活動の推進」、「まちづくりの推進」、「しごとづくりの推進」に取り組んでいる。

●SDGs未来都市フェスタ（8月24日（土）実施予定）

環境・経済・社会の3側面を基軸とし、地元企業、大学、研究機関等によるSDGsに関連したブースを水俣環境アカデミアに設置し、来館者が楽しみながらSDGsの取組に触れることのできるセミナーや体験型のイベントを実施する。

※詳細については別添チラシのとおり

●市民公開講座（年4回開催）

人材育成事業として、各大学及び研究者等と連携し、持続可能な地域社会の形成に向けて、住民の暮らしに身近で役立つようなテーマでの講座を開催する。

第1回：令和6年4月21日（日）

「親子で学ぶ半導体講座～そうだったのか半導体！～」

※第2回以降の日時・講座内容については検討中

●木育ワークショップ

産学官が連携し、地域産材をテーマとした知識と木材加工技術の習得を目的とし、持続可能な地域づくりを担う人材を育成する。

令和6年4月12日（金）に、合同会社Wood oneの緒方様を講師にお招きし、水俣高校電気建築システム科建築コースの生徒へ「水俣の森林保全や地域産材を取り巻く現状や課題」をテーマとした講義を行った。また、同日、水俣市建具組合の方の助言指導を受けて小中学生向け木育ワークショップ（SDGs未来都市フェスタにて実施）や製作実習における製作物について、検討を行った。

●プログラミングワークショップ

プログラミング教育を通じて、自ら考え自ら行動するための論理的思考力、問題解決能力を習得し、将来、情報技術を環境保全・環境負荷軽減等の社会問題の解決に活用できる人材を育成する。

小中学生向けのプログラミングワークショップに向け、令和6年7月9日（火）に、水俣高校電気建築システム科電気コース3年生が1年生にメンター教育を実施した。今後、8月、10月、12月、1月に小中学生向けのプログラミングワークショップを開催予定。

●高大連携未来塾

次世代を担う若い世代が、国内外の様々な環境問題等に触れることにより、環境負荷を身近な問題としてとらえ、グローバルな視点で環境負荷を意識し、低減を実践できる人材を育成する。

<水俣高校×慶應義塾大学との連携>

慶應義塾大学と水俣高校のSDGsをテーマとしたワークショップ。

8月に慶應義塾大学の学生がフィールドワークを兼ねて水俣を訪問し、SDGs未来都市フェスタにおけるブースの内容について検討する予定。

<水俣高校×日越大学（ベトナム）との連携>

ベトナムの新学期が開始する秋以降に、水俣高校の生徒とオンラインでのワークショップを実施予定。具体的な時期、内容については現在水俣高校と調整中。

●大学、研究機関等研修受入

水俣環境アカデミアとネットワークのある大学、研究機関等からの研修を受け入れる。

今年度も、受入の依頼・相談があっている大学・研究機関があり、打合せを始めている。

<慶應義塾大学>

8月4日～7日 慶応大学及びアジア地域大学による水俣現地フィールドワーク

<熊本県立大学>

8月18日～21日 グローバル育成(シニア)水俣英語合宿

11月16日 環境共生学部居住環境学科の水俣フィールドワーク

<長崎県立大学>

9月25日～26日 地域創造学部公共政策学科の水俣フィールドワーク

<地球環境戦略研究機関（IGES）>

9月11日～13日 SDGsグローバル人材育成プログラム

●グローバル人材育成事業（令和6年度新規事業）

スタンフォード大学の国際異文化理解プログラム専任講師による、水俣高校生徒への英語のオンライン授業や参加者によるディスカッション、プレゼンテーション等を通じて、グローバルに、また、グローバルに活躍できる人材を育成する。

令和6年9月頃からオンライン講義を受講予定。

●プログラミング人材育成事業（令和6年度新規事業）

総務省の制度「地域活性化起業人」（企業人材派遣制度）を活用してプログラミング教育の専門家を配置し、小中学校から水俣高校へと連続した学びの体制を構築、半導体関連分野で活躍できる人材を育成する。

令和6年5月1日付けで株式会社アソウ・アルファ東京支店と「水俣市地域活性化起業人派遣に関する協定」を締結、派遣職員1名がアカデミアに着任した。水俣環境アカデミアにおけるプログラミングセミナーの企画・実施、小中学校でのプログラミング教育のサポート・出前講座を実施していく。

8月9日（金）、派遣職員による初の企画「ワクワク!! プログラミングクエスト」を開催予定。また、同じく8月中に、市内小中学校の教諭を対象に「半導体関連産業及びプログラミングに関する研修会」を開催予定。

2 水俣市SDGs取組事例集「私たちのSDGs in みなまた」の改訂

令和4年3月に作成した標記事例集の改訂作業を行う。

今回、新たに「SDGs未来都市みなまたオリジナルロゴマーク」及び熊本県SDGs登録制度に登録されている市内企業一覧の2ページを追加掲載予定。

改訂した事例集（冊子）は市内各施設のほか、市内小中学校及び水俣高校へ配付し、ホームページに掲載予定。

※英語版の事例集を作成し、ホームページに掲載予定（冊子作成はなし）。



3 市報及びホームページへの掲載

水俣市SDGs取組事例集「私たちのSDGs in みなまた」に記載の事例や、ページの都合上掲載できなかった事例等について、市報で紹介を行う。不定期連載で2回程度掲載予定。また、ページの都合上掲載できなかった事例等についてはホームページへ掲載予定。

SDGs未来都市計画の進捗評価について

SDGs未来都市は、毎年SDGs未来都市計画の進捗評価を行うこととなっている。今後令和5年度の進捗状況を内閣府へ提出予定（9月頃）である。進捗結果については、次回（11月頃開催予定）の地方創生SDGs総合戦略会議において報告予定。